対象期間: 2019年4月 - 2020年3月



発行日: 2020年9月1日

函館環境衛生株式会社

社長メッセージ

おかげさまで、昭和 33 年の設立より 60 有余年を迎えようとして おります。

これも偏に支えていただいた地域の方々や、苦労を重ね当社を守っていただいた先人の方々のおかげであると思います。

私たちの仕事は決して派手なものではありません。

むしろ、あまり目につかないことの方が多いと思います。

地中に埋まっている便槽や浄化槽、グリーストラップや排水管、 公道では下水管や雨水管、道路脇の側溝等があります。

目に見えない部分を清掃するため、

なかなか気付いていただくことは ありませんが、市民の皆様の生活や 事業活動には、確実に役立っている ものと自負しております。

私たちは、そのような<u>仕事を</u> 誇りに思うと同時に、<mark>皆様の</mark> サポート役であり続けたいと 願っております。

今後とも変わらぬお引き立ての ほど、よろしくお願い申し上げます。



函館環境衛生株式会社

代表取締役社長

久保俊彦

目次

930	会社概要	
	事業の概要	01
	社内組織体制	02
	許認可等	03
	有資格者	04
	事業紹介	04
000	産業廃棄物処理業に関する事項	
	収集運搬業【施設等の状況】	05
	【処理の状況】	06
	【産業廃棄物許可証】	07
	【特別管理産業廃棄物許可証】	07
	処分業【施設等及び処理の状況】	08
	【処 <mark>分実績】 </mark>	09
	【処理工程図:汚泥処理施設】	10
	【処 <mark>理工程図:廃</mark> 油処理施設】	10
	【産業廃棄物許可証】	11
	一【特別管理産業廃棄物許可証】	11
600	HES:産業廃棄物処理業者シス <mark>テム規格認証</mark> 登録内容	12
•••	環境に関する基本方針	13
950	環境改善活動の取組み体制	14
000	環境改善活動の役割・責任・権限	14
•••	環境目的・目標	15
000	環境活動計画	16
200	環境目標の実績	
_	電気使用量・ガス使用量・灯油使用料	17
	軽油使用量・ガソリン使用量・二酸化炭素排出量	18
	水使用量・紙使用量・一般廃棄物排出量	19
	産業廃棄物排出量・産業廃棄物処分量(汚泥・廃油)・グリーン購入	20
<u></u>	環境活動計画の取組み結果とその原因・評価、次年度の取組み内容	21
	NONHAME HISTORY OF COMMENT HIM NOT INCOME.	<u> </u>
960	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評及び	
	評価価の結果並びに違反・訴訟等の有無	22
000	最高責任者による評価及び見直し指示	22

会社概要

- 事業の概要(2020年4月1日現在)
 - 会 社 名 函館環境衛生株式会社
 - 代表者氏名 代表取締役社長 久保 俊彦
 - 役員等の氏名 代表取締役会長 久保 俊幸 (平成28年05月23日重任) ·就任年月日 代表取締役社長 久保 俊彦 (平成29年04月01日就任)

役 池田 勇一 (平成28年05月23日重任) 取 締

取 締 役 上坂 広 (平成28年05月23日重任) 役 天野 勝也 (平成29年04月01日就任) 取 締

取 締 役 杉谷 忠幸 (平成29年04月01日就任)

監 杳 役 杉谷 康弘 (平成28年05月23日重任)

監 査 役 久保 幸子 (平成28年05月23日重任)

- 設立年月日 昭和33年3月27日設立
- 事業所所在地 本社・廃油処理センター:北海道函館市金堀町5番23号 汚泥脱水処理施設:北海道函館市西桔梗町818番12号 札幌支店:北海道札幌市白石区本通11丁目南1番30号 北広島支店:北海道北広島市西の里南1丁目1番地7
- 環境管理責任者 氏名:池田 勇一 氏名及び連絡先 連絡先: TEL (0138) 51-7750 FAX (0138) 51-7790
- 事業内容 一般廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集・運搬及び中間処 理、処理場の運転管理、下水管の調査・清掃・維持及び止水工事、浄化槽・貯水槽の 維持管理及び清掃、再生油の販売、路面清掃、土木工事、管工事、水道施設工事
- 資 本 金 40,000千円
- 売 上 1833百万円(2019年度) 高
- 従 業 員 数 136名 (パート社員等24名を含む)
- 敷地面積(本社) 13, 633. 69m²
- 1, 081.00m² 延床面積(本社)
- 沿 革
 - 昭和33年03月27日 北海道函館市日乃出町25番6号にて函館清掃株式会社設立・清掃業を営む
 - 昭和44年11月15日 北海道函館市金堀町5番23号へ移転する
 - 昭和46年05月16日 函館環境衛生株式会社に社名を変更する
 - 昭和48年04月04日 廃油処理センターを開設する
 - 昭和48年05月16日 函館市より産業廃棄物収集運搬業許可を取得する

函館市より産業廃棄物処分業許可を取得(油水分離施設)する

昭和63年06月30日 汚泥脱水処理施設を開設する

昭和63年09月06日 北海道より産業廃棄物収集運搬業許可を取得する

平成05年07月01日 函館市より特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得する

函館市より特別管理産業廃棄物処分業許可を取得する

平成05年09月20日 北海道より特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得する

平成07年08月10日 函館市より産業廃棄物処分業許可を取得(脱水施設)する

平成15年09月11日 札幌市より産業廃棄物収集運搬業許可を取得する

平成16年02月27日 ISO9001:2000認証を取得する

平成19年10月15日 札幌支店を開設・北広島支店を開設する

平成22年04月14日 旭川市より産業廃棄物収集運搬業許可を取得する

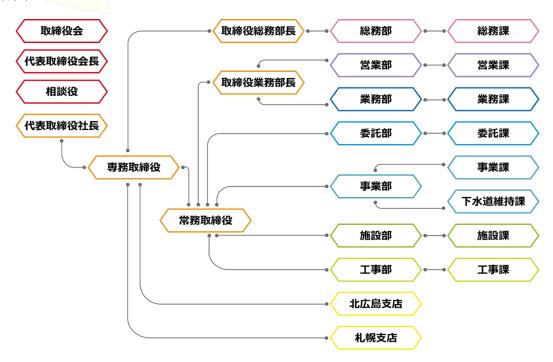
平成24年12月21日 北海道環境マネジメントシステムスタンダード産業廃棄物処理業者用システ ム規格に適合する

平成25年09月24日 北海道より優良産廃処理業者に認定(産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業 廃棄物収集運搬業)される

会社概要

● 社内組織体制(2020年4月1日現在)

● 組織図



● 人員配置

		総務部	営業部	業務部	委託部	事業部	施設部	工事部	札幌支店	北広島支店	
正	社	員	5名	1名	26名	35名	17名	6名	4名	1名	10名
パー	-	まか	3名	3名	3名	6名	1名	8名	0名	0名	0名

● 職務分掌

	部 署		主な業務内容	
総	務	部	経理、労務、会計、庶務、受付、集金、備品管理、社屋管理	
営	業	部	営業、外勤、情報収集、入札	
業	務	部	一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、し尿許可、浄化槽清掃管理、貯水槽清掃管理	Ī
委	託	部	塵芥委託、し尿委託	
事	業	部	下水道清掃、管路調査、管路修繕、管路改築	
施	設	部	廃油処理、再生油施設、鉄工所、施設管理、汚泥脱水処理施設	
エ	事	部	土木、管工事、路面清掃	
札幌	支店・北広!	島支店	土木、管工事	

⇒ 会社概要

許認可等(2020年4月1日現在)

許認可の種類	許認可先	許認可番号	許認可(更新)年月日	許認可(満期)年月日
建设業行可	北海道	(般-1) 渡第 00770 号	令和02年01月25日	令和07年01月24日
産業発棄物収集運搬業許可(優良)	北海道	第 00100004439 号	平成25年09月24日	令和02年09月05日
産業発棄物処分業許可	函館市	第 05221004439 号	平成30年09月07日	令和05年09月06日
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(優良)	北海道	第 00150004439 号	平成25年09月24日	令和02年09月19日
特別管理産業廃棄物処分業許可	函館市	第 05276004439 号	平成30年07月01日	令和05年06月30日
一般廃棄物仅集運搬業許可	函館市 (一般廃棄物)	第2号	令和02年04月01日	令和04年03月31日
一般廃棄物収集運搬業許可	北斗市(し尿を除く一般廃棄物)	第 2-9 号	令和02年04月01日	令和04年03月31日
一般廃棄物仅集運搬業許可	七郎町(し尿を除く一般廃棄物)	第9号	令和02年04月01日	令和04年03月31日
一般廃棄物仅集運搬業許可	森町(事業系一般廃棄物及び特定家庭用機器廃棄物/積卸しのみ)	森町廃第 1-6 号指令	令和元年08月18日	令和03年08月17日
一般廃棄物仅集運搬業許可	森町(浄化槽方泥/浄化槽の清掃に限る積卸しのみ)	森町廃第 2-2 号指令	令和02年04月01日	令和04年03月31日
一般廃棄物仅集運搬業許可	度部町(浄化槽汚泥)	鹿民廃第 2-2 号	令和02年04月01日	令和04年03月31日
一般廃棄物仅集運搬業許可	度部町(事業系一般発棄物及O特定家庭用機器発棄物)	鹿民廃第 1-6 号	令和元年08月18日	令和03年08月17日
し尿浄化槽清掃業許可	函館市	環し浄指令第 1 号	昭和53年11月10日	_
净化槽精煤許可	北斗市	第 2-3 号	令和02年04月01日	令和03年03月31日
净化槽精業許可	七郎町	第 4 号	令和02年04月01日	令和03年03月31日
净化槽精業許可	秧叮	森町浄第 2-2 号指令	令和02年04月01日	令和05年03月31日
净化槽精業許可	鹿部町	鹿民浄第 31-1 号	平成31年04月01日	令和03年03月31日
净化槽保守点検業登録	北海道	浄保60第26号	平成30年12月06日	令和03年12月05日
净化槽保守点検業登録	函館市	第 4 号	平成30年10月15日	令和03年10月14日
建築物貯水槽青掃業登録	北海道	北海道 56 貯第 68 号	平成29年11月26日	令和05年11月25日
建築物排水管清掃業登録	北海道	北海道15排第5号	平成27年07月18日	令和03年07月17日
地下タンク等定期点検事業者認定	財団法人全国危険物安全協会	地 (7) 第 01047 号	平成29年06月01日	令和04年05月31日
水道局指定給水装置工事事業者指定	函館市	第 0035 号	令和02年03月12日	令和07年09月29日
水道局指定給水装置工事事業者指定	北斗市	第 142 号	平成20年03月01日	_
水道局指定給水装置工事事業者指定	七銀町	第 72 号	平成10年04月10日	_
指定給水装置工事事業者	札幌市	第 2-256 号	令和02年03月11日	令和07年09月29日
水道事業指定給水裝置工事事業者	北広島市	第 12 号	平成20年05月26日	_
指定給水装置工事事業者	江別市	第 18 号	令和02年09月30日	令和07年09月29日
水道局指定排水設備工事業者指定	函館市	令和2年度第56号	令和02年04月01日	令和07年03月31日
排水設備工事指定業者	北斗市	北第 31 号	令和02年04月01日	令和07年03月31日
排水設備指定工事業者	札幌市	第 483 号	平成29年04月01日	令和04年03月31日
排水設備指定工事業者	北広島市	第 13 号	平成30年04月01日	令和05年03月31日
Medal II. I St. Microsoft de Mille de	North data	第 18 号	令和02年04月01日	令和07年09月29日
指定排水設備工事事業者	江別市	NJ 10 - J		
指定排水改順上事事業者 労働者派遣事業許可証	厚生労働大臣	派 01-300792	平成30年04月01日	令和03年03月31日

会社概要

有資格者(2020年4月1日現在)

1級土木施 <mark>工管理技士 ・・・・</mark> ・・・・・・・・・	· 5名
2級土木施工管理技士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 9名
1級管工事施工管理技士 ・・・・・・・・・・	· 3名
2級管工事施工管理技士 ・・・・・・・・・・	· 5名
1級建設機械施工技士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 1名
2級建設機械施工技士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 2名
2級建築施工管理技士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 1名
1級配管・配管工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 2名
建築配管作業 1 級技能士 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 3名
給水装置工事主任技術者 ・・・・・・・・・・	· 10名
監理技術者 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 6名
建設業経理士2級 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 4名
建築物環境衛生管理技術者 ・・・・・・・・・	· 1名
防除作業監督者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 1名
空気環境測定実施者 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 1名
酸素欠乏作業主任者 1 種・2 種・・・・・・・・・・	· 23名
小型移動式クレーン ・・・・・・・・・・・	· 21名
玉掛け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 24名
産業洗浄士(高圧洗浄)・・・・・・・・・・	· 5名
危険物乙種第四類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 12名
ボイラー技士1級 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 2名
ボイラー技士2級 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 4名
地下タンク点検技術者 ・・・・・・・・・・	· 3名
浄化槽管理士 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 6名
浄化槽設備士 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 4名
浄化槽技術管理者 ・・・・・・・・・・・・	· 1名
下水道管路管理技士(清掃、調査、修繕・改築)・	· 2名
下水道管路管理技士(調査、修繕・改築)・・・・	· 1名
下水道管路管理技士(清掃、修繕・改築)・・・・	· 2名
下水道管路管理技士(清掃)・・・・・・・・	· 3名
下水道管路管理総合技士・・・・・・・・・・	· 1名
下水道技術検定第3種 ・・・・・・・・・・	· 1名
下水道管理技術認定試験管路施設	· 3名
下水道管理技術認定試験処理施設・・・・・・・・	· 5名
産業廃棄物焼却管理者 ・・・・・・・・・・	· 1名
産業廃棄物中間処理管理者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 1名
有機溶剤作業主任者 ・・・・・・・・・・・	· 2名
排水設備工事責任技術者 ・・・・・・・・・	· 1名
貯水槽清掃作業監督者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 2名

事業紹介

・一般廃棄物(ゴミ)収集運搬



委託連芥収集作業



・浄化槽保守点検、清掃





・下水道テレビカメラ調査



・路面清掃



・地下タンク点検清掃



・一般廃棄物(し尿)収集



・産業廃棄物収集運搬



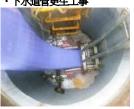
・貯水槽清掃



・下水道清掃



・下水道管更生工事



・廃油収集運搬



・再生油販売



☞ 産業廃棄物処理業に関する事項

- 収集運搬業 【施設等の状況】(2020年4月1日現在)
 - 許可内容 許可都道府県 北海道
 - 事業の範囲

産業廃棄物

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙 くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスく ず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む。)、鉱さい、がれき類(石綿 含有産業廃棄物を含む。)、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん

※7P の産業廃棄物収集運搬業許可証をご参照ください

特別管理産業廃棄物

廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む。)、廃ア ルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む。)、特定有害産業廃棄物 ※7P の特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証をご参照ください

- 積替え保管 なし
- 保有車両の種類と台数

【産業廃棄物収集運搬登録車両 合計 53 台】 【会社所有車両 合計 96 台】

車 種 台 数 糞尿車 7台 塵芥車 8台 清掃車 9台 ダンプ 11台 脱着装置付コンテナ専用車 3台 バン 2台 タンク車 3台 キャブオーバ 11台

車 種	台 数
糞尿車	13台
塵芥車	17台
清掃車	13台
ダンプ	11台
脱着装置付コンテナ専用車	3台
バン	9台
タンク車	4台
キャブオーバ	1 2台
検査測定車	3台
ショベル・ローダ	2台
道路作業車	2台
工作車	1台
軽乗用車	3台
普通乗用車	3台

● 産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低公害車の導入の状況

運搬車の排ガスレベル	保有台数
平成16年までの排出ガス規制適合車	27台
平成 17 年排出ガス規制適合車	3台
平成 17 年排出ガス規制適合/平成 17 年基準 PM10% 低減達成車	5台
平成19年排出ガス規制適合車	2台
平成 21 年排出ガス規制適合車	3台
平成 21 年排出ガス規制適合/平成 21 年 <u>基準 10%低減達</u> 成車	6台
平成22年排出ガス規制適合車	1台
平成22年排出ガス規制適合/平成22年基準10%低減達成車	2台
平成28年排出ガス規制適合車	5台

運搬車の燃費低減レベル	保有台数	割合	
平成22年度燃費基準達成車	3台	5. 56%	
平成27年度燃費基準達成車	1 4台	25. 93%	

☞ 産業廃棄物処理業に関する事項

収集運搬業【処理の状況】(2019年度)

● 収集運搬実績

【産業廃棄物】

廃棄物の種類	数量(t)
燃え殼	6. 1
汚泥	12, 264. 8
廃油	1, 140. 4
廃酸	0. 0
廃アルカリ	55. 1
廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)	671.4
紙くず	1. 2
木くず	359. 3
繊維くず	2. 9
動植物性残さ	2, 427. 7
動物系固形不要物	0. 0
ゴムくず	0. 0
金属くず	218. 2
ガラスくず	58. 0
コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)	579.9
鉱さい	415. 1
がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)	1, 605. 6
動物のふん尿	0. 0
動物の死体	0. 0
ばいじん	0. 0
混合廃棄物	786. 0

【特別管理産業廃棄物】

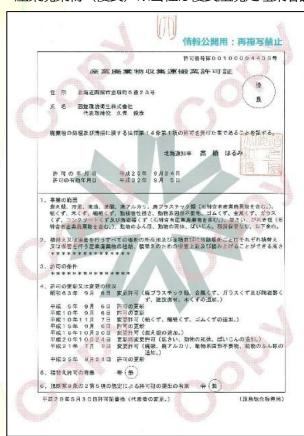
廃棄物の種類	数量(t)	
廃油(灯油類及び軽油類)	0. 78	
廃酸 (pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)	0.00	
廃アルカリ (pH12.5以上のもの。)	0.00	
廃石綿等	11.24	

一廃棄物の処理料金について —

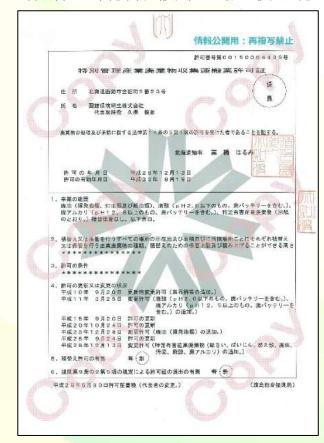
産業廃棄物の種類・性状・量・運搬距離等により料金が異なりますので、都度個別にお見積をして金額 の提示をいたします(お見積りは無料です)

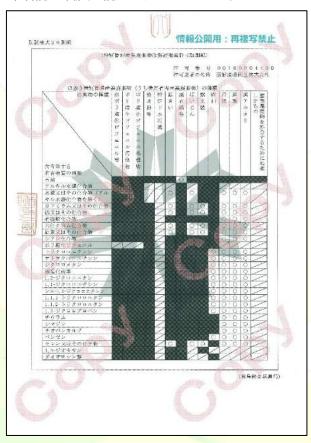
産業廃棄物処理業に関する事項

- 収集運搬業【許可証】(2020年4月1日現在)
 - 産業廃棄物(優良)※当社は優良産廃処理業者認定制度の認定を受けております



特別管理産業廃棄物(優良)※当社は優良産廃処理業者認定制度の認定を受けております





☞ 産業廃棄物処理業に関する事項

- 処分業 【施設等及び処理の状況】(2020年4月1日現在)
 - 許可内容 (処分場の詳細) 産業廃棄物

(生术)元末(7)								
許可都道府県・政令市			許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日			
函館市			05221004439 号	平成30年(2018年)09月07日	平成35年(2023年)09月06日			
1.	事業の範囲:脱水	(汚)	尼) 固化(汚泥) 油水分離	(廃油)				
2.	事業の用に供する	ナベ	ての施設					
	施設の種類	汚泥の脱水施設						
	設置場所	Z	頭館市西桔梗町 818 番 12					
施	設置年月日	7	成15年(2003年)05月08日	(遠心濃縮装置の設置年月日)				
設 1	処理能力	24. 8 m²/日 (8 時間) 3. 1 m²/時間						
	変更許可年月日	7	成07年(1995年)08月10日					
	許可番号	函産施第1号						
и.	施設の種類	汚泥の固化施設						
施設	設置場所	函館市西桔梗町 818 番 12						
2	設置年月日	平成 15 年(2003 年)09 月 01 日(既存施設(ストックヤード)の竣工年月日)						
2	処理能力	29. 16 ㎡/日						
LL	施設の種類	序	経油の油水分離施設					
施設	設置場所	函館市金堀町5番23号						
3 _	設置年月日	平成27年 (2015年) 02月13日						
	処理能力	7	. 2㎡/日 (8 時間) 0.9	m ¹ /時間				
3.	許可の条件:該当内	まし	Control of the Contro					
4.	許可の更新又は変更	更の	犬況:昭和48年(1973年)05月	16日 当初許可年月日				
5 . 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無:無								

5. 規則第10条の16第2項の規定による許可証の提出の有無:無

特	別管理產業廃棄	靿					
許可都道府県・政令市			許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日		
函館市	ī		05221004439 号	平成30年(2018年)07月01日	平成35年(2023年)06月30日		
1.	事業の範囲:油水	分離	(廃油(揮発油類、灯油類および	 	棄物であるものを除く。))		
2.	事業の用に供する	すべ	ての施設	A A			
	施設の種類		客油(揮発油類,灯油類および軽 分離施設	油類に限り,特定有害産業廃棄	物であるものを除く。)の油水		
施 設	設置場所	ß	函館市金堀町5番23号		A		
叔	設置年月日	7	平成 27 年(2015 年 <mark>)02 月 13 日</mark>				
	処理能力	7	. 2 ㎡/日(8 時間) 0. 9	mi/時間			
3.	3. 許可の条件: 該当なし						
4.	4 . 許可の更新又は変更の状況:平成05年(1993年)07月01日 当初許可年月日						

☞ 産業廃棄物処理業に関する事項

処分業【処分実績】(2019年度)

● 受入実績・処理実績【産業廃棄物】 単位:トン

<u></u>	ノノス川沢	ベジエラ		生术儿	* 17J	1 17	. • 1 ~					***************************************			
廃棄物の種類	処理方法	受入 · 如分量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
汗源	脱水・固化	受入量	507.6	393.0	792. 1	844.9	684.9	442.8	444.7	370.8	392.9	196.1	237.9	529. 8	5, 837. 4
汚泥	(中間処理)	処分量	507.6	393.0	792. 1	844.9	684.9	442.8	444.7	370.8	392.9	196.1	237.9	529.8	5, 837. 4
廃油	油水分離	受入量	126.1	146.1	77.8	114.7	127.4	103.4	33.1	54.2	69.9	37.6	50.5	120.0	1,060.8
/充田	(中間処理)	処分量	126. 1	146.1	77.8	114.7	127.4	103.4	33.1	54.2	69.9	37.6	50.5	120, 0	1,060.8

受入実績・処理実績【特別管理産業廃棄物】 単位:トン

		7 1					4 1								
廃棄物の種類	処理方法	受入· 処分量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃油	油水分離	受入量	_	_	-	-	_	-	-	-	-	-	_		0.0
角田	(中間処理)	処分量	_	_			_						_		0.0

中間処理後の持出先・処理方法・処理量【産業廃棄物】 単位:トン

廃棄物の種類	持出最終処分先	処理 方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	승카
	委伽理	焼却焼成	271.8	220. 6	456.3	426. 1	387.7	324.6	263.6	154, 1	156.3	162, 5	148.4	166.7	3, 138. 5
汚泥	委伽理	管理型 埋立	-	1	1	_	-	1	_	-	_	-	-	1	0.0
	委伽理	増肥化	_	_		_	_	-	20.7	_	-	4	_	-	20.7
廃油	委伽理	焼却	4.9	26.2	1.3	5.2	42.5		14.9	3.1	1.3	0.9	3.8	2,8	106. 9

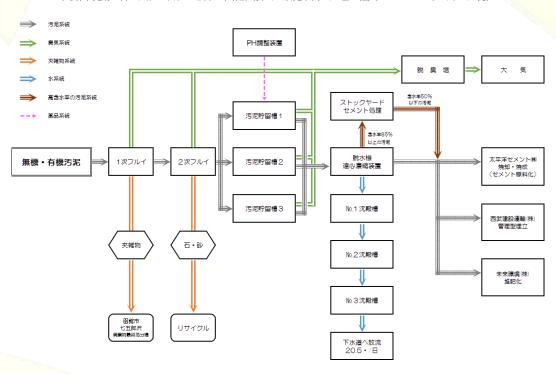
● 中間処理後の持出先・処理方法・処理量【特別管理産業廃棄物】 単位:トン

廃棄物の種類	持出 最終処分先	処理 方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃油	委仰理	焼却	ı	_	l	1	1		1	I			I	l	0.0

☞ 産業廃棄物処理業に関する事項

- 処分業【処理工程図:汚泥処理施設】(2019年度)
 - 汚泥の脱水施設

函館環境衛生株式会社 汚泥の脱水・固化施設 産業廃棄物の処理工程図 2020年4月1日現在



汚泥の固化施設

污泥系統

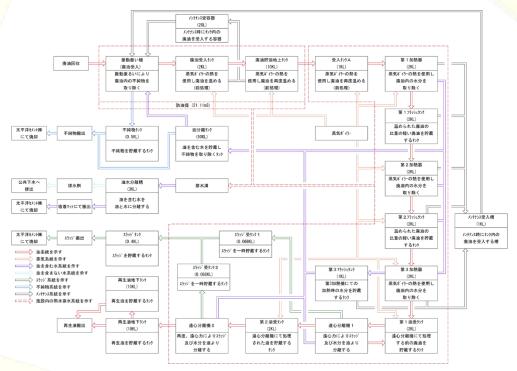
函館環境衛生株式会社 汚泥の固化施設 産業廃棄物の処理工程図 2020年4月1日現在

太平洋セメント(株) 焼却・焼成 (セメント原料化) ストックヤード セメント処理 ベントナイト系汚<mark>泥</mark> 西武建設運輸(株)

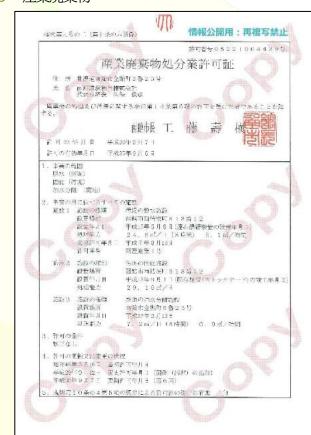
産業廃棄物処理業に関する事項

- 処分業【処理工程図:廃油処理施設】(2019年度)
 - 廃油の油水分離施設

函館環境衛生株式会社 廃油の油水分離施設 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の処理工程図 2020年4月1日現在



- 処分業【許可証】(2020年4月1日現在)
 - 産業廃棄物



特別管理産業廃棄物



₩ HES: 産業廃棄物処理業者システム規格認証登録内容

● 登録日 2012年12月21日

● 有効期限 2021年12月20日

登録番号 HESW: 0009

● 組織及び 函館環境衛生株式会社 所在地 北海道函館市金堀町5番23号

登録範囲

● 対象組織 本社・廃油処理センター(EA21 相互認証): 北海道函館市金堀町 5 番 23 号 汚泥脱水処理施設(EA21 相互認証):北海道函館市西桔梗町 818 番 12 号 札幌支店(EA21 相互認証):北海道札幌市白石区本通 11 丁目南 1 番 30 号 北広島支店(EA21相互認証):北海道北広島市西の里南1丁目1番地7

活動内容 一般廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理(EA21 相互認証)、下水 処理場の運転管理、下水管の調査・清掃・維持及び止水工事、浄化槽・貯水槽の維持管理 及び清掃、再生油販売、路面清掃、土木工事、管工事、水道施設工事

事業年度 4月1日~翌年3月31日 ※本活動レポートの対象期間は2019年4月1日~2020年3月31日





登録証

HES 産業廃棄物処理業者用システム規格

組織及び所在地

函館環境衛生株式会社

北海道函館市金堀町5番23号

【対象組織】本社・廃油処理センター: 北海道函館市金堀町5番23号 札幌支店:北海道札幌市白石区本通11丁目南1番30号 北広島支店:北海道北広島市西の里南1丁目1番地7 汚泥脱水処理施設:北海道函館市桔梗818番12号

【活動内容】一般並びに産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理、下水処理場の運転管理、 下水管の調査・清掃・維持及び止水工事、浄化槽・貯水槽の維持管理及び清掃、

再生油贩壳、路面清掃、土木工事、管工事、水道施設工事 登録番号

HESW: 0009

2012年12月21日 2021年12月20日

貴組織の環境マネジメントシステムは、

北海道環境マネジメントシステムスタンダード審査登録制度に基づいて客査した結果、 上記の範囲でHES産業廃棄物処理業者用システム規格の規格に適合していることを証します。

2018年12月18日

エイチ・イー・エス推進機構

会長岩 H

理事長 小 林

☞ 環境に関する基本方針

【基本理念】

私達は『健全で恵み豊かな環境を次世代へつなげていきたい』と考えております。 地域を代表する廃棄物処理業者として、常に地球環境保全を心掛け、社訓である 『親切 丁寧 敏速』に基づき、従業員全員が人間としての正しい考え方、向上 心と感謝の気持ちを忘れずに最大の努力をして環境活動に取り組むことをお約束 いたします。

【基本方針】

私達はすべての事業活動から発生する環境影響を認識し、次の方針に基づき環境 改善活動を推進いたします。

- ① 環境経営マネジメントシステムを構築し、環境負荷の低減、環境汚染の予防等に 取り組むとともに、その改善を継続的に推進いたします。
- ② 事業活動にかかわる環境関連法令、参加する協定等その他の要求事項を遵守いた します。
- ③ 次の項目を重点テーマとし、明確な目標設定をもって取り組んでまいります。
 - エネルギー消費量の削減による二酸化炭素排出量の削減
 - 水使用量の削減
 - 紙の使用量の削減
 - グリーン購入を推進
 - 事業活動により排出される一般廃棄物・産業廃棄物量の削減
 - 汚泥・廃油の中間処理による排出者の環境負荷削減に寄与
- ④ 地球環境保全の意識を高めるために全従業員への環境教育・啓蒙活動をおこない、 積極的に地域社会貢献活動を行います

この環境に関する基本方針は、全従業員で高い目標を持ち、 環境改善活動を繰り返し行うことで、環境活動の定着・向上 に努めるとともに、すべての方に対して開示をいたします。

2017年9月1日

函 館 環 境 衛 生 株 式 会 社 代表取締役社長 久 保 俊 彦

⇒ 環境改善活動の取組み体制



環境改善活動の役割・責任・権限

● 役割・責任・権限一覧表

	作账一見公	
組織	責任者	主な業務内容と責任と権限
		① 当社の環境マネジメントの最高責任
		② 環境管理責任者の任命及び環境マネジメント組織の明確化④ 最高責任者による評価の実施
		③ 環境に関する基本方針の制定、環境目的・目標、環境目標計画書兼進捗管理表の承認
		④ 最高責任者による評価の実施
	最高責任者	⑤ 環境マネジメントマニュアルの承認
	取同貝江伯	⑥ 環境マネジメントシステムの実施に必要な資源の投資
		⑦ 自己評価チームの任命(リーダー・評価員)
		⑧ 法的及び当社が同意するその他の要求事項の特定及び変更の承認
		⑨ 事故・緊急事態発生時の判断
		⑩ 環境活動レポートの承認
		① HESの構築・実施・維持
		② 環境マネジメントマニュアルの立案・見直し及び関連文書等の承認
A 44		③ 環境目標計画書兼進捗管理表の作成・実施・進捗確認・是正処置(再発防止)の実施
全体		④ 環境マネジメントシステム実績等を最高責任者へ報告
		⑤ 環境マネジメントシステムのための資源、要員の提言
		⑥ 環境に関する各種問題の解決と検証の総括
		⑦ 文書・記録の管理
	環境管理責任者	⑧ 環境影響要因の調査に関する業務
	(HES 事務局)	③ 各種環境情報に対する指示
		⑩ 法的及び当社が同意するその他の要求事項の調査及び遵守評価
		① 是正処置(再発防止)と予防処置(未然防止)の管理
		②教育の実施
		③ 事故・緊急事態の特定、訓練・見直し
		関係者への手順書・要求事項の伝達
		⑤ 環境活動レポートの作成
		⑥ 産業廃棄物処理業者の優良性判断に係る評価制度の情報公開
		① 部門での環境影響要因の抽出
A	riville at lor de	②環境目標達成への改善活動責任
各部門	実施責任者	③環境情報の対応と連絡
		④ 事項・緊急事態の対応と対策の実施
		① 自己評価チームの統括
自己評価チーム	リーダー	② 自己評価員の養成
	評価員	① リーダー指揮のもと、自己評価を実施
	и і ішья	

➡ 環境目的・目標

● 目的・目標一覧

	項目	基準年度(2017年度)	環境目標	環境目的
	次口		**************************************	で不少九口Hリ
	電気使用量の削減	売上 100 万円あたりの使用量 	基準年度から売上100万あたりの使用量を3%削減する	電気の使用量を削減して二 酸化炭素排出量を削減する
	LPガス使用量の削減	売上 100 万円あたりの使用量 2.332 ㎡	基準年度から売上100万あた りの使用量を1%削減する	LPガスの使用量を削減し て二酸化炭素排出量を削減 する
二酸化炭素排出量の削減	灯油使用量の削減	売上 100 万円あたりの使用量	基準年度から売上100万あたりの使用量を1.5%削減する	灯油の使用量を削減して二 酸化炭素排出量を削減する
量の削減	軽油使用量の削減	148.373ℓ 売上100万円あたりの使用量	基準年度から売上100万あた	車両燃料 (軽油) の使用量を 削減して二酸化炭素排出量
	軽油使用里の用源	2,620.3110	りの使用量を 1.5%削減する	削減して <u>一酸化灰条排</u> 面里 を削減する
	ガソリン使用量の削減	売上 100 万円あたりの使用量	基準年度から売上100万あたりの使用量を1.5%削減する	車両燃料 (ガソリン) の使用量を削減して二酸化炭素排
		181.609ℓ)	出量を削減する
水使	用量の削減	売上 100 万円あたりの使用量	基準年度から売上100万あた	水の使用量を削減して水資
		76 . 995ℓ	りの使用量を1%削減する	源を保全する
紙使	用量の削減	売上 100 万円あたりの使用量 量の削減		紙の使用量を削減して天然
		1,216.802枚	りの使用量を1%削減する	資源を保護する
一般	廃棄物の排出量削減	売上 100 万円あたりの排出量 	基準年度から売上100万あたりの排出量を1%削減する	廃棄物の排出量を削減して 低温型は今を構築する
		107. 198ℓ	90分析四重を 1 70円/100 9 つ	循環型社会を構築する
産業	廃棄物の排出量削減	売上 100 万円あたりの排出量	基準年度から売上100万あた	廃棄物の排出量を削減して
		0.303 m³	りの排出量を1%削減する	循環型社会を構築する
グリ	ーン購入の促進	紙類 : 4品目 文具 : 22品目	基準年度から2品目増やす	環境負荷の小さいものを購 入してグリーン市場を拡大 する
	廃棄物受入量を増やし再生	汚泥(脱水・固化)※各年度の 最大稼働日(土/日/祝日を除 く)を100%とする	汚泥の年間処理量(脱水 24.8 ㎡/日・固化 29.16 ㎡/日)の 58%を達成する	産業廃棄物受入量を増やし、
資源	量を増やす	廃油(油水分離)※各年度の 最大稼働日(土/日/祝日を除 く)を100%とする	廃油の年間処理量 (7.2 ㎡/日)の 58%を達成する	資源循環型社会を構築する

☞ 環境活動計画

2019 年度施策

9	2019 年度施策						
		活動項目	2019 年度目標	施策内容			
		電気使用量の削減	基準年度から売上100万円 あたりの使用量を3%削 減する	①社屋内の照明は、過剰な明るさとならないよう調整する ②クールビズ(冷房時の設定温度を 28℃)ウォームビズ(暖房時の設定温度 20℃)を励行し徹底されているかを定期点検する ③不要な待機電力をなくすため、コンセントを抜く			
	1	LPガス使用量の削減	基準年度から売上100万円 あたりの使用量を1%削 減する	①やかん等で必要以上にお湯を沸かさない(ガス台の無人使用は極力避ける) ②給湯器のお湯を出しっ放しにしない ③使用しない時は、ガスの元栓を閉める			
	酸化炭素排出量の削減	灯油使用量の削減	基準年度から売上100万円 あたりの使用量を 1.5%削 減する	①ウォームビズ(暖房時の設定温度 20℃)を励行し、暖房機器の使用時間を短縮する ②暖房機器はこまめにフィルター等の点検・清掃をし、運転時の効率を上げる。			
	削減	軽油使用量の削減	基準年度から売上100万円 あたりの使用量を 1.5%削 減する	①車両の運転時にはエコドライブを徹底する ②すべての車両は、始業前点検をする ③車両運行には効率的な走行ルートを作成し、作業にあたる ④毎月の車両整備を強化する			
		ガソリン使用量の削減	基準年度から売上100万円 あたりの使用量を 1.5%削 減する	①車両の運転時にはエコドライブを徹底する ②すべての車両は、始業前点検をする ③車両運行には効率的な走行ルートを作成し、作業にあたる ④毎月の車両整備を強化する			
	水使用量の削減		基準年度から売上100万円 あたりの使用量を1%削 減する	①節水に対する注意喚起を促すため、水を使用する場所へポスターなどを貼り付ける ②洗車にはバケツの水を使用することを推奨する ③漏水箇所がないか、定期的に点検する。			
	紙使用	用量の削減	基準年度から売上100万円 あたりの使用量を1%削 減する	①社内文書などは、新しい紙を使用せず裏紙の再利用を徹底する ②プロジェクター等を有効に活用し、紙の使用は最小限に抑える ③FAXの受信は、まずデータで受信し、パソコン上で内容を確 認してから必要なデータのみを紙に印刷する			
	一般家	を棄物の排出量削減	基準年度から売上100万円 あたりの排出量を1%削 減する	①ミックスペーパー・段ボール・新聞雑誌・シュレッダーくずを リサイクルする。 ②廃プラスチックの汚れをきれいに洗い落とし、リサイクルする ③マイ箸使用の促進			
	産業寮	を棄物の排出量削減	基準年度から売上100万円 あたりの排出量を1%削 減する	①排出される産業廃棄物から金属等を分別し、可能な限りリサイクルをする。			
	グリーン購入の促進		基準年度から2品目増や す	①環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する			
	産業廃棄物受入量を増やし再生資源量を増やす		汚泥の年間処理量(脱水 24.8 ㎡/日・固化 29.16 ㎡ /日)の 58%を達成する 廃油の年間処理量(7.2 ㎡ /日)の 58%を達成する	nd ②受入廃棄物の処理を計画的且つスムーズに処理し、再利用でる資源を増やす			
L							

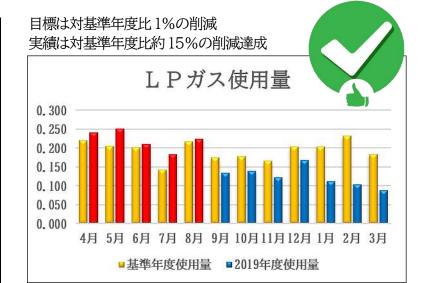
実績:電気使用量(単位:kWh)

	目標値	実績値	増減率
4月	243.944	178.021	29%減少
5月	321.472	165.369	50%減少
6月	305.651	152.526	52%減少
7月	149.883	171.122	11%増加
8月	196.551	182.611	10%減少
9月	160.592	135. 367	18%減少
10月	160.706	135. 274	18%減少
11月	151.994	133. 296	15%減少
12月	226.960	214. 134	8%減少
1月	196.965	171.451	16%減少
2月	225.285	112.080	52%減少
3月	203.574	118.938	43%減少
年間	2,543.576	1,870.189	26.5%減少



実績:LP ガス使用量(単位:m)

	目標値	実績値	増減率
4月	0.219	0.240	9%增加
5月	0.203	0.251	22%增加
6月	0.200	0.210	4%增加
7月	0.142	0.183	28%增加
8月	0.214	0.222	3%增加
9月	0.174	0.134	24%减少
10月	0.177	0.139	22%减少
11月	0.165	0.122	26%减少
12月	0.202	0.167	18%減少
1月	0.201	0.112	45%减少
2月	0.231	0.104	55%减少
3月	0.181	0.088	52%减少
年間	2.309	1.972	14.6%减少



実績:灯油使用量(単位:ℓ)

	目標値	実績値	増減率
4月	18.526	11.034	41%減少
5月	2.566	9.616	269%增加
6月	5.851	0.000	
7月	0.000	0.000	
8月	0.000	0.000	
9月	0.000	0.000	
10月	5.670	6.152	7%增加
11月	6.438	8.358	28%增加
12月	30.038	20.683	32%減少
1月	24. 224	21.457	13%减少
2月	33.982	13.596	61%減少
3月	18.853	11.590	39%減少
年間	145. 878	102.486	29.7%减少



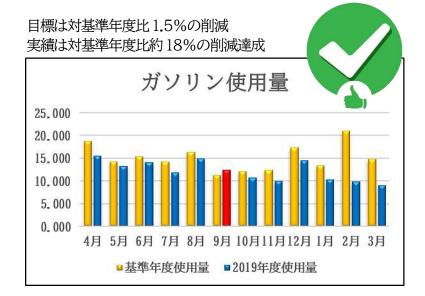
実績:軽油使用量(単位:ℓ)

	目標値	実績値	増減率
4月	253.174	228.716	11%減少
5月	179.660	212.411	16%增加
6月	242.517	244.304	1%減少
7月	202.562	208.391	1%增加
8月	225.107	222.933	2%減少
9月	222.553	210. 266	7%減少
10月	207.695	179.498	15%減少
11月	189.802	164 . 938	14%減少
12月	244. 187	221.692	11%減少
1月	185.680	138.046	27%減少
2月	237.183	122.257	49%減少
3月	190.887	109.967	43%減少
年間	2,581.007	2, 263. 419	12.3%减少



実績:ガソリン使用量(単位:ℓ)

	目標値	実績値	増減率
4月	18.481	15.535	17%減少
5月	14.112	13.236	8%減少
6月	15. 235	14. 183	8%減少
7月	14.045	11.901	17%減少
8月	16.137	14.949	9%減少
9月	11.094	12.381	10%增加
10月	11.958	10.749	11%減少
11月	12.243	10.007	19%減少
12月	17.086	14.483	17%減少
1月	13.204	10.267	23%減少
2月	20.682	9.947	53%減少
3月	14.608	8.965	40%减少
年間	178.885	146.603	18.0%减少



実績:二酸化炭素排出量(単位:kg-CO2)

増減率	実績値	目標値			
16%減少	776.890	898.826	4月		
3%減少	717.363	715.043	5月		
15%減少	769.109	874.926	6月		
2%增加	683.425	650.202	7月		
4%減少	736.117	744.442	8月		
8%減少	664.852	701. 790 679. 941	9月		
15%減少	596.814		10月		
14%減少	561.503	630.950	11月		
12%減少	804.361	889.368	12月		
23%減少	551.011	696.960	1月		
51%減少	449.582	888.460	2月		
43%減少	415.093	704.619	3月		
14.8%減少	7, 726. 119	9,075.527	年間		
	561. 503 804. 361 551. 011 449. 582 415. 093	630, 950 889, 368 696, 960 888, 460 704, 619	11月 12月 1月 2月 3月		



二酸化炭素総排出量:1,124,120.042(kg-co2)

※電気使用量の CO2 排出係数はほくでんの 0.678 を使用しています

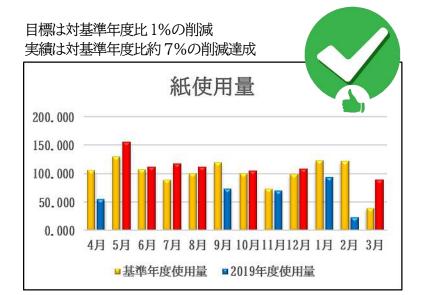
実績:水使用量(単位:㎡)

	目標値	実績値	増減率
4月	8.836	7.970	11%減少
5月	6.332	7.384	15%増加
6月	6.931	6.801	3%減少
7月	6.484	5. 682	13%減少
8月	6.726	6.010	12%減少
9月	5. 140	4.633	11%減少
10月	4.477	3.683	19%減少
11月	5.788	4. 148	29%減少
12月	5.897	6.095	2%增加
1月	6.046	5.357	12%減少
2月	7.220	3.455	53%減少
3月	6.349	3.208	50%減少
年間	76.226	64.426	15.5%減少



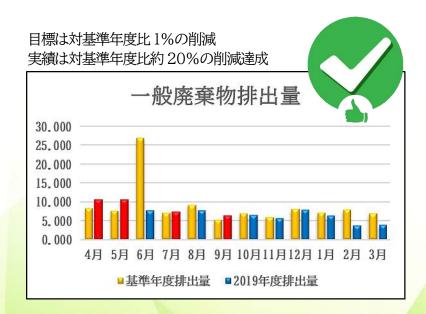
実績:紙使用量(単位:枚)

			1)() D. L.
	目標値	実績値	増減率
4月	105.739	55.687	48%减少
5月	129.002	155.083	19%增加
6月	106.847	111.817	4%增加
7月	88.704	117.057	31%增加
8月	100.229	111.440	10%增加
9月	119.058	73.361	39%減少
10月	99.566	104.270	4%增加
11月	73.245	70.019	5%減少
12月	99.095	108.503	8%增加
1月	122.420	94.196	24%減少
2月	121.036	23.925	80%減少
3月	39.693	88.954	122%增加
年間	1,204.634	1, 114. 312	7.5%减少



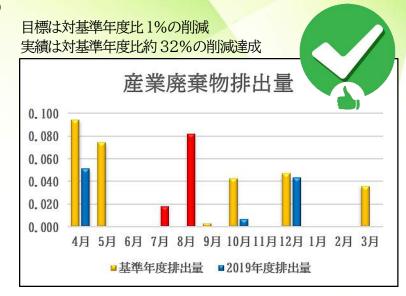
実績:一般廃棄物排出量(単位:ℓ)

目標値	実績値	増減率
8.259	10.630	27%增加
7.571	10.492	37%增加
26.501	7.635	71%削減
6.965	7.308	4%增加
9.092	7.527	18%減少
5. 121	6.382	23%增加
6.927	6.374	9%減少
5.892	5.479	8%減少
8.092	7.820	4%减少
7.044	6.225	13%減少
7.873	3.769	53%減少
6.788	3.931	43%减少
104.425	83.572	20.0%減少
	8. 259 7. 571 26. 501 6. 965 9. 092 5. 121 6. 927 5. 892 8. 092 7. 044 7. 873 6. 788	8. 259 10. 630 7. 571 10. 492 26. 501 7. 635 6. 965 7. 308 9. 092 7. 527 5. 121 6. 382 6. 927 6. 374 5. 892 5. 479 8. 092 7. 820 7. 044 6. 225 7. 873 3. 769 6. 788 3. 931



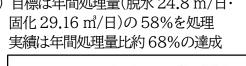
実績:産業廃棄物排出量削減(単位:㎡)

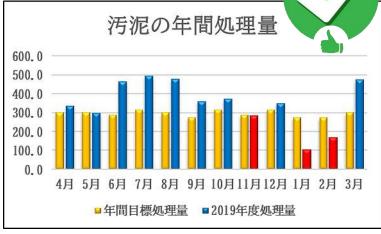
	目標値	実績値	増減率
4月	0.095	0.051	46%減少
5月	0.075	0.000	_
6月	0.000	0.000	_
7月	0.000	0.018	100%增加
8月	0.000	0.082	100%增加
9月	0.004	0.001	65%減少
10月	0.043	0.008	83%減少
11月	0.000	0.000	_
12月	0.047	0.044	8%減少
1月	0.000	0.000	_
2月	0.000	0.000	_
3月	0.036	0.000	_
年間	0.303	0.204	32.0%減少



実績:産業廃棄物(汚泥)処理量(単位:㎡) 目標は年間処理量(脱水 24.8 ㎡/日・

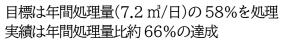
	目標値	実績値	稼働率
4月	302.1	337.3	65%
5月	302.1	300.1	58%
6月	287.7	464.6	94%
7月	316.4	494.8	91%
8月	302.1	479.6	92%
9月	273.3	360.0	76%
10月	316.4	372.7	68%
11月	287.7	283.7	57%
12月	316.4	348.0	64%
1月	273.3	103.3	22%
2月	273.3	168.4	36%
3月	302.1	476.5	91%
年間	3, 552.8	4, 188. 9	68%

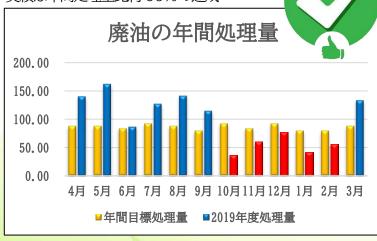




実績:産業廃棄物(廃油)処理量(単位:㎡)

	目標値	実績値	稼働率
4月	87.7	140.15	93%
5月	87.7	162.38	107%
6月	83.5	86.45	60%
7月	91.9	127.40	80%
8月	87.7	141.54	94%
9月	79.3	114.84	84%
10月	91.9	36.77	23%
11月	83.5	60.26	42%
12月	91.9	77.61	49%
1月	79.3	41.75	31%
2月	79.3	56.17	
3月	87.7	133.37	88%
年間	1,031.47	1, 178. 67	66%





実績:グリーン購入 新たに購入した消耗品にグリーン購入法対象商品が1品目ありましたので購入した。

□ 環境活動計画の取組み結果とその原因・評価、次年度の取組み内容

目標項目		結果	目標達成の施策内容	取組状況	評価	目標達成・未達成の原因と次年度の取組み内容			
	基準年度から売上100万円 あたりの電気使用量を3%		①社屋内の照明は、過剰な明るさとならないよう調整する	0	よくできていた。	昨年度に比べ処理場の使用量は増加しているが、売上に比例した使用量以内であった。次年度も引き続き各部門で節			
	あたりの電気使用量を 3% 削減する	0	②クールビズ(冷房時の設定温度を28°C)ウォームビズ(暖房時 の設定温度20°C)を励行し徹底されているかを定期点検する	0	よくできていた。	例した使用重点内であった。次年度も行き続き合部でで即電に協力を呼びかける。			
			③不要な特機電力をなくすため、コンセントを抜く	0	よくできていた。				
	基準年度から売上100万円 あたりのガス使用量を1%		①やかん等で必要以上にお湯を沸かさない(ガス台の無人使用は極力避ける)	0	よくできていた。	全各部門ともに、昨年度とほぼ同量の使用量となり、目標は達成できた。来年度に向けて今一度ガスを使用するにあ			
	削減する	0	②給湯器のお湯を出しっ放しにしない	0	よくできていた。	たり、無駄を省く工夫が必要である。次年度も引き続き不要な使用をしないように担当者から使用者へ呼びかける。			
			③使用しない時は、ガスの元栓を閉める	0	よくできていた。				
	基準年度から売上100万円 あたりの灯油使用量を1.5		①ウォームビズ(暖房時の設定温度 20℃)を励行し、暖房機器の使用時間を短縮する	0	よくできていた。	昨年同様、汚泥処理場における作業に使用する分は増えているが、前々年度のような隆雪がなかったため、暖房機器			
二酸化炭素排出量の削減	%削減する	0	②暖房機器はこまめにフィルター等の点検・清掃をし、運用の 効率を上げる。	0	よくできていた。	の仕様時間が減り目標達成できた。次年度も引き続き暖房 機器の温度設定に注意し、使用時間を短縮できるよう呼び			
反素排			777 (444)	0	よくできていた。	かける。			
量の削	基準年度から売上100万円 あたりの軽油使用量を1.5		①車両の運動はエコドライブを徹底する	0	よくできていた。	■ 6 月に汚泥処理場にて作業した処理量がかなり増え、処理 に必要な軽油の使用量が増えたのを除けば、概ね予定通り			
減	%削減する		②すべての車両は、 始業前点検をする	0	よくできていた。	に使用量を削減できた。運搬時に車両で使用する軽曲は昨 年同様程度の使用量であったが、毎日のエコドライブ等を			
		0	③車両運行には効率的な走行ルートを作成し、作業にあたる	0	よくできていた。	徹底した結果目標達成できた。次年度も引き続きエコドラ イブの徹底を車両担当者に申し伝えます。			
			④毎月の車両整備を強化する	0	よくできていた。				
	基準年度から売上100万円 あたりのガソリン使用量を		①車両の運動時にはエコドライブを徹底する	0	よくできていた。	□ 昨年度は遠方への営業が多くガソリン使用量が増えていたが、今年度は管内の営業が多かったため距離が少なかった。			
	1.5%削減する		②すべての車両は、始業前点検をする	0	よくできていた。	こと、また、新しい車両に3台入れ替えがあり、燃費がよく なったため目標を達成できた。昨年度営業に力を入れた結			
		0	③車両運行には効率的な走行ルートを作成し、作業にあたる	0	よくできていた。	果は今年度の売上増加に確実につながった。 来年度も引き 続きエコドライブに徹底することと、 営業効率を考えて予			
			④毎月の車両整備を強化する	0	よくできていた。	定を立てることを営業担当者に申し伝えます。			
	Ⅰ むから売上 100 万円あたりの ₫を 1%削減する		①節水に対する注意喚起を促すため、水を使用する場所へポスターなどを貼付ける	0	よくできていた。	年間を通して使用量はおぼ一定で、作業に使用する水も節水に徹底したため目標を達成した。使用量の削減はわずか			
7NX/13	EC 170(33)(949 9	0	②洗車にはバケツの水を使用することを推奨する	0	よくできていた。	であるが、次年度も引き続き節水に徹する。			
			③漏水箇所がないか、定期的に点検する	0	よくできていた。				
	接から売上 100 万円あたりの 量を 1%削減する		①社内文書などは、新しい紙を使用せず裏紙の再利用を徹底する	0	よくできていた。	昨年度導入した複合機により、個々の使用枚数を把握した 結果、総使用量は減少できたが、やはり公共事業の報告書作			
בנו לאואויי			0	②プロジェクター等を有効に活用し、紙の使用は最小限に抑える	0	よくできていた。	成等の使用料は減少できなかった。次年度は引き続き社内使用のものはデータによる管理に移行し、印字は裏紙を使		
			③FAXの受信は、まずデータで受信し、パソコン上で内容を確認してから必要なデータのみを紙に印刷する	0	よくできていた。	用、2UP印刷も使用し、紙使用量の削減につなげます。			
	から売上 100 万円あたりの 勢が排出量を 1%削減する		①ミックスペーパー・段ポール・新聞雑誌・シュレッダーくずを リサイクルする	0	よくできていた。	一般廃棄物の排出量は毎月平均しているが、昨年度比較して少量の増加がみられた。分別などは引き続き徹底してい			
,,,,,,		0	②廃プラスチックの汚れをきれいに洗い落とし、リサイクルする	0	よくできていた。	るようなので、次年度も引き続きリサイクルを徹底するよ う呼びかける。			
			③マイ箸使用の促進	0	よくできていた。				
	から売上 100 万円あたりの 動排出量を 1%削減する		①排出される産業廃棄物から金属等を分別し、可能な限りリサイクルをする	0	よくできていた。	現場作業より発生した産業廃棄物はこれ以上分別できない ところまで分別してから排出しているため、最小限の排出			
		0		0	よくできていた。	量となっている。次年度も引き続き分別とリサイクルを徹 底するよう呼びかける。			
				0	よくできていた。				
グリーン	購入の促進		①環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する	0	よくできていた。	昨年度は新たに購入したもののなかで、グリーン購入法対 象商品は 1 点のみでした。次年度も引き続き購入時には該			
		Δ				当するグリーン商品がないかを確認し、購入可能範囲内の 金額であればグリーン商品にすべて切り替えます。			
量を増や	産業廃棄物受入量を増やし再生資源 量を増やす(汚泥の年間処理量(脱水		①受入廃棄物の収集先を拡大する	Δ	減少した現場の分を 補填できていない。	予定していた数量の受入はできていたが、冬期間は建設現場の減少に伴う汚泥の受入量・処分量が減少してしまう点			
	/日・固化 29.16 ㎡/日) の 試する)	0	②受入廃棄物の処理を計画的且つスムーズに処理し、再利用できる資源を増やす	0	よくできていた。	が改善事項として重要。次年度も引き続き現状を維持し、 スムーズな処理ができるよう、綿密に受入計画を立てま			
						す。 			
量を増や	学が受入量を増やし再生資源 です(廃油の年間処理量(7.2		①受入廃棄物の収集先を拡大する	0	よくできていた。	前年度比の受入量・処分量は1割ほど増加し、目標達成できた。但し、前年度同様、冬期間の受入量がどうしても減っ			
m/目)	㎡/日) の 58%を達成する)		の 58%を達成する)		②受入廃棄物の処理を計画的且つスムーズに処理し、再利用できる資源を増やす	0	よくできていた。	てしまう点を改善することが必要である。次年度も引き き新規顧客獲得とスムーズな処理を目指すとともに、冬 問に受し書も描述されていて新力を署さます。	
						間に受入量を増やすことに重点を置きます。			

☞ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評及び評価価の結果並びに違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反、行政指導、訴訟等はなく、地域からの指摘や苦情もありませんでした。

⇒ 最高責任者による評価及び見直し指示

— 2019 年度の環境改善活動について —

● 評価

年度当初、基本方針に基づき設定した環境目標をすべて達成することができた。

中でも、二酸化炭素の排出量削減を目的とする電気の使用量削減は、基準に対し 26.5%削減で きたこと、産業廃棄物の汚泥の年間処理稼働率を 68%まで伸ばせたことは、当社の環境活動が 環境保全に対し大きく貢献できたものといえる。

このような結果を遂行できた一つの要因として売上高の大幅な増加が考えられ、2019年度は最 大限の評価を与えることができる。

見直し指示

2020年度の見直し指示は下記のとおりとする。

- ① コロナ禍の状況を踏まえ、昨年と同等の売上高は見込めないが、その分、日々の経費削減 を徹底し、環境改善に取り組むこと。
- ② 当社に導入した次亜塩素酸水生成器の活用やマスクの使用により、新型コロナウイル感染 拡大を防ぐ自助努力の徹底。
- ③ 品質マネジメントシステムの有効活用をする。

2020年8月31日

函館環境衛生株式会社

代表取締役社長 久保俊彦

要心という選択 **函館環境衛主株式会社**

■本社

〒042-0944

函館市金堀町 5 番 23 号

TEL (0138) 51-7750

FAX (0138) 51-7790

■汚泥脱水処理施設

〒041-0824

函館市西桔梗町 818番 12号

TEL (0138) 49-3303

FAX (0138) 49-3673

■札幌支店

〒003-0026

札幌市白石区本通 11 丁目南 1 番 30 号

TEL (011) 861-6984

FAX (011) 861-6982

■北広島支店

〒061-1106

北広島市西の里南1丁目1番地7

TEL (011) 375-3988

FAX (011) 375-3955

■廃油処理センター

〒042-0944

函館市金堀町 5番 23号

TEL (0138) 51-7750